

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月6日

上場会社名 東ソー株式会社

上場取引所 東証一部

コード番号 4042

URL <http://www.tosoh.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 土屋 隆

問合せ先責任者(役職名) 取締役 経営管理室長

(氏名) 石川 克美 TEL (03) 5427 - 5123

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	607,448	6.4	45,760	14.8	43,714	7.8	22,977	8.9
19年3月期第3四半期	570,914	21.5	39,850	13.4	40,561	8.4	21,102	△7.4
19年3月期	781,347		60,279		57,998		28,488	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	38	37	38	35
19年3月期第3四半期	35	26	35	25
19年3月期	47	60	47	59

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第3四半期	834,263		241,284		23.8		331 04	
19年3月期第3四半期	783,087		216,627		22.4		292 88	
19年3月期	788,518		227,768		23.5		308 81	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物の 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	40,059		△ 47,177		13,342		33,207	
19年3月期第3四半期	17,192		△ 64,969		61,102		31,963	
19年3月期	51,127		△ 85,231		42,348		26,911	

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】
平成19年11月6日に発表しました連結業績予想を、本資料において修正しております。

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	840,000	7.5	59,000	△2.1	53,000	△8.6	26,000	△8.7	43	42

※連結業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。連結業績予想については、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)における日本経済は、民間設備投資、輸出の増加によりかろうじて拡大基調で推移いたしました。しかしながら、原油等資源価格の高騰に加え、サブプライムローン問題の実体経済への波及により米国経済が大幅に減速する等、今後の景気の先行きに対する懸念が強まりました。

化学業界を取り巻く環境につきましては、原油価格の高騰によりナフサ等の原燃料価格が急上昇しましたが、石油化学製品等は需要が旺盛であったことから海外市況も上昇いたしました。

このような情勢の下、当社グループの第3四半期における連結業績は、塩化ビニル樹脂やウレタン原料を始めとする主要製品の海外市況の上昇、国内販売価格の是正、機能商品事業の成長により、売上高は6,074億48百万円と前年同期に比べ365億34百万円の増収、経常利益は437億14百万円と前年同期に比べ31億52百万円、四半期純利益は229億77百万円と前年同期に比べ18億75百万円のそれぞれ増益となりました。

当第3四半期の事業別の概況は次のとおりです。

石油化学事業

オレフィン製品は、主原料であるナフサ等の価格が上昇いたしました。これに対し、クラッカー原料の多様化によりコストを引き下げるとともに、国内ではエチレン、プロピレン、アロマ製品の値上げを実施し、キュメン、スチレンモノマーの海外市況も上昇いたしました。

ポリエチレン樹脂は、出荷が増加し、国内ではナフサ価格の上昇を受けて値上げを実施いたしました。クロロブレンゴムは、海外市況が上昇いたしました。ペースト塩ビは、国内において値上げを実施いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ244億56百万円(13.6%)増加し2,047億65百万円となり、営業利益も前年同期に比べ24億87百万円(26.7%)増加し118億22百万円となりました。

基礎原料事業

苛性ソーダは、南陽事業所の停電トラブルの影響はあったものの、一部能力増強が寄与し、輸出出荷が増加いたしました。また、原燃料価格の上昇に伴う値上げの実施により国内販売価格は上昇し、海外市況も上昇いたしました。塩化ビニルモノマーは、トラブルの影響により輸出出荷が減少しましたが、海外市況は上昇いたしました。塩化ビニル樹脂は、輸出出荷が増加しましたが、需要の低迷により国内出荷は減少いたしました。また、原燃料価格の上昇に伴う値上げの実施により国内販売価格は上昇し、海外市況も上昇いたしました。

セメントは、官需の減少に改正建築基準法施行の影響も加わり、国内出荷は減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ4億98百万円(0.3%)増加し1,459億48百万円となりましたが、営業利益は原油価格の高騰に起因する原燃料価格の上昇により、前年同期に比べ10億74百万円(30.5%)減少し24億46百万円となりました。

機能商品事業

臭素系難燃剤の出荷は、国内外ともに堅調に推移いたしました。エチレンアミン、臭素、重金属処理剤は、国内又は海外において値上げを実施いたしました。

計測関連商品は、液体クロマトグラフィー用カラム及び充填剤の販売が国内外とも堅調に推移いたしました。診断関連商品は、全自動エンザイムイムノアッセイ装置及び体外診断用医薬品の出荷が国内外ともに増加いたしました。また、糖尿病診断用自動ヘモグロビン分析装置及び関連試薬の出荷についても堅調に推移いたしました。

ジルコニアは、ファインセラミックスとしての需要が増大し、国内外とも出荷が拡大いたしました。電解二酸化マンガンの出荷は、欧州を除き堅調に推移いたしました。

石英ガラスは、DRAM価格の急落等の影響を受け、デバイスメーカーの投資意欲が減退し、海外を中心とした半導体市場向け熔融石英材料の出荷が減少いたしました。スパッタリングターゲットは、半導体用途向けは出荷が堅調に推移しましたが、液晶用途向けは出荷が減少いたしました。

水処理装置・薬品は、電子産業・一般産業向けプラント部門、薬品部門において売上高が減少いたしました。

ウレタン原料は、国内における値上げの実施と海外市況の上昇により、売上高が増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ 99 億 88 百万円(4.7%)増加し 2,206 億 85 百万円となり、営業利益も前年同期に比べ 39 億 61 百万円(15.8%)増加し 290 億 10 百万円となりました。

サービス事業

商社及び物流子会社の業績は堅調に推移しましたが、建設子会社の売上は減少いたしました。その結果、売上高は前年同期に比べ 15 億 90 百万円(4.6%)増加し 360 億 48 百万円となり、営業利益も前年同期に比べ 5 億 35 百万円(27.5%)増加し 24 億 81 百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、上場株式の株価下落によって投資有価証券が減少しましたが、原料価格の高騰に伴う売上債権及び棚卸資産の増加、ビニル・イソシアネート・チェーン事業への増強設備工事による固定資産の増加等の結果、前期末に比べ457億45百万円増加し8,342億63百万円となりました。

負債は、原燃料価格の高騰による仕入れ債務の増加、並びに借入金の増加等により、前期末に比べ322億30百万円増加し5,929億79百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が減少しましたが、四半期純利益の計上により、前期末に比べ135億15百万円増加し2,412億84百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物は、前期末に比べ62億96百万円増加し332億7百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、400億59百万円の収入となりました。法人税等の支払額が増加しましたが、税金等調整前四半期純利益の増益や売上債権の増減による運転資金の流入が増加したことなどにより、前年同期に比べ228億67百万円収入が増加いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、471億77百万円の支出となりました。前年同期に比べ、設備投資額や投資有価証券の取得額が減少したことなどにより、177億92百万円支出が減少いたしました。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは前年同期に比べ406億59百万円支出が減少し、71億18百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、133億42百万円の収入となりました。前年同期に比べ、借入金・社債の純増加額が減少したことなどにより、477億59百万円収入が減少いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の連結業績予想につきましては、原燃料価格の急騰及び第4四半期末の想定為替レートの見直し等に鑑み、前回発表(平成19年11月6日)予想に比べ、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ次のとおり下方修正いたします。

<通期連結業績予想の修正>

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	840,000	63,000	59,000	29,000
今回修正予想(B)	840,000	59,000	53,000	26,000
増減額(B)－(A)	－	△4,000	△6,000	△3,000
増減率(%)	－	△6.3	△10.2	△10.3

4. その他

会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準等に一部簡便的な手続きを用いております。

4. (要約)四半期連結財務諸表
 (1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 期 平成19年3月31日現在		当第3四半期 平成19年12月31日現在		増 減	前年同四半期 平成18年12月31日現在	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(資産の部)		%		%			%
I 流動資産	370,197	46.9	402,425	48.2	32,228	378,163	48.3
現金及び預金	27,674		33,840		6,165	33,180	
受取手形及び売掛金	206,590		210,172		3,582	199,703	
棚卸資産	114,227		131,179		16,951	117,679	
その他	21,704		27,233		5,529	27,598	
II 固定資産	418,321	53.1	431,837	51.8	13,516	404,924	51.7
有形固定資産	314,706		335,319		20,613	303,134	
無形固定資産	13,336		14,049		712	12,229	
投資その他の資産	90,278		82,468		△ 7,810	89,559	
資産合計	788,518	100.0	834,263	100.0	45,745	783,087	100.0
(負債の部)							
I 流動負債	357,673	45.4	397,395	47.6	39,721	370,487	47.3
支払手形及び買掛金	117,316		134,175		16,859	113,773	
短期借入金	179,500		186,433		6,932	202,006	
一年内償還社債	5,000		20,000		15,000	5,000	
その他	55,856		56,786		929	49,707	
II 固定負債	203,075	25.7	195,584	23.5	△ 7,491	195,971	25.0
社債	20,000		-		△ 20,000	20,000	
長期借入金	149,965		167,033		17,068	144,953	
退職給付引当金	20,934		19,894		△ 1,040	21,102	
その他	12,176		8,655		△ 3,520	9,914	
負債合計	560,749	71.1	592,979	71.1	32,230	566,459	72.3
(純資産の部)							
I 株主資本	174,536	22.2	191,886	23.0	17,350	167,212	21.4
資本金	40,633	5.2	40,633	4.9	-	40,633	5.2
資本剰余金	30,285	3.9	30,288	3.6	3	30,284	3.9
利益剰余金	104,409	13.2	121,919	14.6	17,510	97,043	12.4
自己株式	△ 792	△ 0.1	△ 955	△ 0.1	△ 163	△ 749	△ 0.1
II 評価・換算差額等	10,437	1.3	6,325	0.8	△ 4,112	8,240	1.0
その他有価証券評価差額金	11,189	1.4	6,856	0.8	△ 4,333	10,443	1.3
繰延ヘッジ損益	6	0.0	4	0.0	△ 1	6	0.0
土地再評価差額金	816	0.1	815	0.1	△ 0	-	-
為替換算調整勘定	△ 1,575	△ 0.2	△ 1,351	△ 0.1	223	△ 2,209	△ 0.3
III 新株予約権	75	0.0	143	0.0	68	75	0.0
IV 少数株主持分	42,720	5.4	42,928	5.1	208	41,099	5.3
純資産合計	227,768	28.9	241,284	28.9	13,515	216,627	27.7
負債純資産合計	788,518	100.0	834,263	100.0	45,745	783,087	100.0

(2) (要約)連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前年同四半期 自平成18年4月1日 至平成18年12月31日		当第3四半期 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日		増 減		前 期 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売上高	570,914	100.0	607,448	100.0	36,534	6.4	781,347	100.0
II 売上原価	455,816	79.8	483,236	79.6	27,420	6.0	619,999	79.4
売上総利益	115,097	20.2	124,211	20.4	9,114	7.9	161,347	20.6
III 販売費及び一般管理費	75,247	13.2	78,451	12.9	3,204	4.3	101,068	12.9
営業利益	39,850	7.0	45,760	7.5	5,909	14.8	60,279	7.7
IV 営業外収益	5,792	1.0	3,801	0.6	△ 1,991	△ 34.4	5,232	0.7
受取利息及び受取配当金	1,058		1,253		195		1,237	
持分法による投資利益	964		-		△ 964		-	
その他営業外収益	3,769		2,547		△ 1,222		3,994	
V 営業外費用	5,081	0.9	5,846	1.0	765	15.1	7,513	1.0
支払利息	3,615		4,486		870		4,970	
持分法による投資損失	-		202		202		553	
その他営業外費用	1,465		1,158		△ 306		1,989	
経常利益	40,561	7.1	43,714	7.2	3,152	7.8	57,998	7.4
VI 特別利益	274	0.0	271	0.0	△ 2	△ 1.0	510	0.1
VII 特別損失	1,734	0.3	1,063	0.2	△ 670	△ 38.7	3,027	0.4
税金等調整前四半期(当期)純利益	39,101	6.8	42,922	7.1	3,820	9.8	55,481	7.1
法人税等	16,342	2.9	18,842	3.1	2,499	15.3	23,799	3.0
少数株主利益	1,656	0.3	1,101	0.2	△ 554	△ 33.5	3,193	0.4
四半期(当期)純利益	21,102	3.7	22,977	3.8	1,875	8.9	28,488	3.6

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前年同四半期 自平成18年4月1日 至平成18年12月31日	当第3四半期 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	前 期 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		39,101	42,922	55,481
減価償却費		26,131	28,612	35,373
売上債権の減少額 (△増加額)	△	28,933	△ 3,703	△ 35,269
棚卸資産の減少額 (△増加額)	△	16,144	△ 17,151	△ 12,485
仕入債務の増加額 (△減少額)		18,560	16,361	20,713
法人税等の支払額	△	16,387	△ 24,450	△ 16,739
その他	△	5,135	△ 2,531	4,054
営業活動によるキャッシュ・フロー		17,192	40,059	51,127
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
固定資産の取得による支出	△	57,935	△ 47,437	△ 79,428
投資有価証券の取得による支出	△	7,254	△ 295	△ 7,636
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入		3,566	-	3,566
その他	△	3,346	554	△ 1,733
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 64,969	△ 47,177	△ 85,231
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
借入金・社債の純増加額 (△減少額)		58,874	19,460	41,224
配当金の支払額	△	3,594	△ 5,382	△ 3,587
少数株主からの払込みによる収入		4,833	100	4,833
その他		988	△ 834	△ 121
財務活動によるキャッシュ・フロー		61,102	13,342	42,348
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		102	71	130
V 現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)		13,427	6,296	8,375
VI 現金及び現金同等物の期首残高		18,408	26,911	18,408
VII 新規連結・連結除外等に伴う 現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)		126	-	126
VIII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		31,963	33,207	26,911

(4) 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	石油化学	基礎原料	機能商品	サービス	合計
売上高	180,308	145,449	210,697	34,458	570,914
営業費用	170,974	141,928	185,648	32,512	531,063
営業利益	9,334	3,521	25,048	1,945	39,850

当第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	石油化学	基礎原料	機能商品	サービス	合計
売上高	204,765	145,948	220,685	36,048	607,448
営業費用	192,943	143,501	191,675	33,567	561,688
営業利益	11,822	2,446	29,010	2,481	45,760

前期 (自平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	石油化学	基礎原料	機能商品	サービス	合計
売上高	242,290	192,334	299,352	47,369	781,347
営業費用	228,244	186,225	262,192	44,404	721,067
営業利益	14,046	6,108	37,159	2,965	60,279